

# 福島一枚はあなたに、もう一枚は大切な人に。

## 10年、20年、30年 忘れないでほしい いま

### ②動けない人たち

そんな中、年20mSv以上に達する恐れのある場所はやっと計画的避難区域に指定されることになりました。しかし避難区域内でも避難区域外でも動きたくても動けない人たちがいます。子供もいます。

1. 仕事を失う
2. お金がない(補償がされない、補償が確約されない)
3. 誰かを置いていく罪悪感 一人で逃げるのかという圧力。様々な構造的問題のためです。一人で子育てしている人は子供をつれての避難も難しい。

2011 4/24 計測地：福島市内某所 住宅街のアスファルト路上

注意：福島市内のある地点での計測です。市内にはこれより高い数値の場所も低い数値の場所も存在します。



Fig. by @gadrimiumさん  
@syupremeさん  
<http://forourchildren.info/?p=30>

福島市の放射線量一例。  
あなたや家族はどれくらい被曝していますか。

### ①20mSv(ミリシーベルト)

学校等の屋外で活動できる放射線量の目安「年20mSv」は、原発労働者が白血病になった際、労災認定されたほどの高い値です。成長期にある子供は放射性物質の健康被害をうけやすく、撤回を求める声が国内外からあがっています。また罹災・被災証明を広く発行すること、一時的学童疎開を求める声もあります。

※1Sv=1000mSv(ミリ) 1mSv=1000μSv(マイクロ)  
これにh(毎時)がつくと、一時間あたりの放射線量を表します。

※法律上で18歳以下の労働が禁じられている「放射線管理区域」0.6 μSv/hの6倍近い値でもあります。

### ③「ふつう」の生活

計画的避難区域外でも、年20mSv 近くになると予想されている場所もあります。日常はつづくのに、楽しく砂遊びをすること、雨にそっと触れること、外でマスクをせず深呼吸すること、空の下でスポーツすることという「ふつう」の生活で、リスクが上がってしまう。これからの社会全体を考えると、どこに住んでいたとしても他人事ではありません。

### ④各地とのつながり

「いま」福島には沢山の人が生きています。厳しい状況に置かれている子どもがいます。その周りには悩んでいる大人がいます。自ら正しい知識を身につけ、福島の人を温かく迎えてほしい。遠くの人のために国やメディアに声をあげてほしい。

#### ◎知ること

- ・PORTAL311 被災者支援ポータルサイト <http://portal311.jimdo.com/>
- ・Moms to Save Children from radiation
- ・twitter @savefukushimaa さん
- ・Facebook 福島の子どもたちを守るう
- ・mixi 被曝から子供達を守る～繋ぐ命～コミュニティ

#### ◎できること

- ・東電と国の補償がきちんと行われるか監督する
  - ・自分の自治体の長や議員の対応を確認する・要請する
  - ・避難や生活の支援をする
  - ・このチラシを冷蔵庫・黒板・職場に貼って皆に伝える
- 一東電原発事故による被ばくを少なくしたい会—  
文責：疋田香澄 ikasumi0@gmail.com twitter:@ikasumi0

キリトリ

# 福島一枚はあなたに、もう一枚は大切な人に。

## 10年、20年、30年 忘れないでほしい いま

### ②動けない人たち

そんな中、年20mSv以上に達する恐れのある場所はやっと計画的避難区域に指定されることになりました。しかし避難区域内でも避難区域外でも動きたくても動けない人たちがいます。子供もいます。

1. 仕事を失う
2. お金がない(補償がされない、補償が確約されない)
3. 誰かを置いていく罪悪感 一人で逃げるのかという圧力。様々な構造的問題のためです。一人で子育てしている人は子供をつれての避難も難しい。

2011 4/24 計測地：福島市内某所 住宅街のアスファルト路上

注意：福島市内のある地点での計測です。市内にはこれより高い数値の場所も低い数値の場所も存在します。



Fig. by @gadrimiumさん  
@syupremeさん  
<http://forourchildren.info/?p=30>

福島市の放射線量一例。  
あなたや家族はどれくらい被曝していますか。

### ①20mSv(ミリシーベルト)

学校等の屋外で活動できる放射線量の目安「年20mSv」は、原発労働者が白血病になった際、労災認定されたほどの高い値です。成長期にある子供は放射性物質の健康被害をうけやすく、撤回を求める声が国内外からあがっています。また罹災・被災証明を広く発行すること、一時的学童疎開を求める声もあります。

※1Sv=1000mSv(ミリ) 1mSv=1000μSv(マイクロ)  
これにh(毎時)がつくと、一時間あたりの放射線量を表します。

※法律上で18歳以下の労働が禁じられている「放射線管理区域」0.6 μSv/hの6倍近い値でもあります。

### ③「ふつう」の生活

計画的避難区域外でも、年20mSv 近くになると予想されている場所もあります。日常はつづくのに、楽しく砂遊びをすること、雨にそっと触れること、外でマスクをせず深呼吸すること、空の下でスポーツすることという「ふつう」の生活で、リスクが上がってしまう。これからの社会全体を考えると、どこに住んでいたとしても他人事ではありません。

### ④各地とのつながり

「いま」福島には沢山の人が生きています。厳しい状況に置かれている子どもがいます。その周りには悩んでいる大人がいます。自ら正しい知識を身につけ、福島の人を温かく迎えてほしい。遠くの人のために国やメディアに声をあげてほしい。

#### ◎知ること

- ・PORTAL311 被災者支援ポータルサイト <http://portal311.jimdo.com/>
- ・Moms to Save Children from radiation
- ・twitter @savefukushimaa さん
- ・Facebook 福島の子どもたちを守るう
- ・mixi 被曝から子供達を守る～繋ぐ命～コミュニティ

#### ◎できること

- ・東電と国の補償がきちんと行われるか監督する
  - ・自分の自治体の長や議員の対応を確認する・要請する
  - ・避難や生活の支援をする
  - ・このチラシを冷蔵庫・黒板・職場に貼って皆に伝える
- 一東電原発事故による被ばくを少なくしたい会—  
文責：疋田香澄 ikasumi0@gmail.com twitter:@ikasumi0